

# 令和2年度学校関係者評価

吉川中学校

1 教育課程について ～授業力の向上「学びあう授業」～

- 計画
- ① より豊かな教育の推進のための小中一貫教育の研究の推進を行う。
  - ② 主体的・対話的で深い学びを育む授業の研究（班学習の研究を中心に）を進める。
  - ③ 学力の向上に努めるため、配置された加配教員（数2、英1）を最大限活用し、数学科と英語科の習熟度別指導の実施率を50%以上とする。
  - ④ 支援教育、通常の学級に在籍する支援の必要な生徒への支援、通級指導の充実を図る。
  - ⑤ 目標に準拠した評価のあり方を研究し、生徒の意欲を高める指導と評価の一体化を進める。

- 取組
- ① 新1年生の体験入学は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、3小学校の児童が交流することや、中学校で授業を受けることなど課題はあったが、生徒会の生徒との交流をなくすなど工夫して実施することができた。また、新1年生保護者対象入学説明会も健康調査の徹底など保護者の協力を得て実施することができた。
  - ② 『「意欲を育て、主体的に学ぶ授業の研究と実践」～わかる授業の創造から～』を今年度も重点目標に掲げ、大阪府教育委員会指定「スクール・エンパワーメント推進事業」（2年目）を受け研究を進めた。具体的には、校内研修推進委員会（管理職、首席、こども支援コーディネーター、本事業担当者、校内研修担当者）を毎週定期的で開催した。今年度は、昨年度の取り組みを継続し、相互参観授業週間を年間3回、全教員を6つに分けた小グループによる校内研究授業を6回実施することができた。
  - ③ 今年度も数学（2名）と英語（1名）の加配教員を府より配置いただき、生徒の実態に応じて習熟度別分割指導やTT授業（2人体制での授業）を数学科全学年、英語科1・3年で前時間実施した。但し、今年度は新型コロナウイルス感染症対策により夏季休業日中も授業を行ったため、熱中症予防のため、空調設備の設置された普通教室での実施を優先したため、TT授業の割合が増加し、数学49%、英語72%となった。分割授業の実施は、数学科では全学年で全授業時数の51%程、英語では1、3年生で28%実施した。※英語科2年生では教員数が足りないため実施なし
  - ④ 今年度、支援学級は1学級減の3クラスとなった。指導については、保護者との連携を大切にし、保護者会の実施や支援学級の懇談会などを持った。生徒については、各行事（宿泊学習、体育大会、校外学習等）などの前には関係する教職員で配慮事項について情報を共有した。また、来年度入学・支援学級入級予定の児童の様子については、例年なら全教職員での参観を実施しているが、今年度はコロナ対応として、小学校への訪問人数を減らすため、支援担当教員のみが3小学校へ授業参観に行き一人ひとりの児童の様子を把握するよう努めた。また、毎週定期的な支援教育に携わる教員で担当者会を開催し、生徒のようすや今後の指導についてなど確認を行いながら進めた。今年度は昨年と引き続き大阪府立豊中支援学校のリーディングスタッフによる学校支援も受けた。
  - ⑤ 来年度より学習指導要領が新しくなり、評価の観点に変更される。それに伴って評価の在り方や通知票の項目の検討などを行った。今年度は、各教科で検討し、全体の場で教科間の調整を行った。

評価

○生徒の評価 ※（H30年度、H31年度、R2年度）の肯定(A)評価の割合  
R2年度学校教育自己診断の授業に関する項目の結果によると「好きな授業がある」（64.1% 69.1% **66.7%**）「授業をわかりやすくしようとしている」（65.1% 63.6% **70.3%**）「少人数授業は分かりやすい」（67.6% 66.5% **75.9%**）「朝の読書は落ち着いて読書のできる時間」（64.2% 61.7% **57.7%**）であり、若干変動はあるが、良好な結果である。朝の読書の時間については、減少傾向にあり課題と捉えている。

○保護者の評価  
「支援教育の充実に努めている」（35.3% 38.6% **37.8%**）「少人数授業、きめ細やかな指導、分かりやすい授業の工夫・研究」（38.1% 42.1% **36.7%**）「放課後まなび舎教室・家庭学習計画表・補習などを通じて自学自習力の向上に努めている」（38.1% 35.4% **37.0%**）「読書活動に力を入れている」（38.2% 42.6% **30.8%**）であった。生徒の結果と差があるが、保護者から見えにくいことと考えられる。今年度は若干低い結果となっている。

○総括的  
今年度は、年度初めから緊急事態宣言により学校は2か月間休業となった。その間、家庭学習支援を行ったが、コロナ対策について十分な見解がなく、家庭に文書を届けることでさえその善し悪しがわか

	<p>らない状況であったため、充分行えたとは言えない。また、授業時数が大きく減少したため、土曜日授業を行ったり、夏季休業日に授業を行ったりと、生徒たちにとっては負担の大きい1年間であったと思う。その中でも、授業についてよい評価をした生徒たちの前向きな学習態度が見える結果であったと思う。保護者の結果もやはり休校や夏季休業日の減少など例年と違う学校運営に対して不安や心配が現れた結果と感じる。</p>
学 校	<p>○コロナ禍で小中一貫教育の研究が思うように進まなかったと思いますが、5年後の事を考えると、もっと積極的に小中学校の教員間で、今より良い学校のイメージを作って、教育委員会にあげていく必要があるのではないのでしょうか。</p>
協 議	<p>○少人数授業できめ細かいご指導ありがたいことです。更に“分かるから出来る”にアップすることを望みます。</p> <p>○今後も起こり得る新型コロナウイルスや予測されている南海トラフなど不意の災害にも教育環境が侵されないように、普段から備えていく必要があると思います。</p>
委 員	<p>○全教職員を6つの小グループに分けた校内研究授業に参加させていただいたが、事前研での他教科の先生の発言が大変興味深かった。生徒数が減るのに伴い、同教科の教員が少なくなる中での良いアイデアだと思います。</p>
評 価	<p>○生徒評価で「授業をわかりやすくしようとしている」「少人数授業はわかりやすい」と答えた積極的肯定評価が70%を超えるなど、授業をわかりやすく工夫されようとしていることが、生徒の実感として大いにあったことが、よくわかります。</p>

2 生徒指導について ～寄り添う指導をとおして集団づくり「高めあう学校」～

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の生活の原点を見据えた指導を行う。</li> <li>② いじめを許さない集団づくりをめざす。</li> <li>③ 学校での生活環境を整える。</li> <li>④ 不登校0、いじめ早期発見、早期解決をめざす。</li> <li>⑤ 部活動の指導では、明確な目標を設定し、指導を行う。</li> <li>⑥ 生徒会役員と学校協議会や PTA 役員との意見交流会を行い、課題解決に向けて学校総体として取り組む仕組みづくりを行う。</li> <li>⑦ 生徒のコミュニケーション力や社会性を高める機会を設ける。</li> </ul>
取 組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎朝の出欠状況を把握する為に、生徒の出席状況を全教職員が確認できるように黒板に一覧表を作成し記入する方式を取った。そのため、遅刻傾向のある生徒や休みがちな生徒がわかりやすくなった。不登校傾向のある生徒については、個別の状況に応じた指導を行い、学年団やこども支援コーディネーター等とケース会議を行い、今後の方向を確認しながら指導を行った。学校全体での情報共有の場としては、毎週1回、各学年の担当者、こども支援コーディネーター、管理職で、学年の状況について、情報を共有する場（学年生徒指導連絡会）を持った。また、必要な場合には、専門職（スクールカウンセラー等）を招聘しケース会議を行った。今年度は、家庭支援を担当するスクールソーシャルワーカーや子ども家庭センターを交えたケース会議も実施した。会議では現状と指導の方向性を共通確認しながら、関係者の役割を確認して進めた。また、生徒一人ひとりの状況を把握した上で、町の適応指導教室や校内のカウンセリングルーム、さらには外部機関との連携を行った。</li> <li>② 今年度は、授業時数の確保やコロナ対応のため、限られた中での実施であったが、道徳・総合・学活などを通じて、体験を重視し、より生徒が主体的に取り組めるよう行事を工夫し、自尊感情や自己有用感が高まるようにした。実施にあたっては、生徒から実行委員を募り、生徒のアイデアを取り入れたり、運営を任せたりするなど、コロナ対応も含めて工夫して実施した。また、状況把握については、学期ごとに生徒に生活アンケートを実施し、いじめや体罰も含めて把握に努めた。</li> <li>③ 今年度は、コロナ対応のため PTA 行事など大幅に中止としたため、清掃活動については充分行えなかった面がある。しかし、校舎内の消毒作業については、毎日勤務終了時に全教職員で階段の手すりや扉などよく触る場所の消毒作業は教職員で実施した。また、校舎のあらゆるところにアルコールによる手指の消毒液を配置し、手洗いや手指の消毒の習慣化を図る取り組みを行った。今年度も全教職員による施設の安全点検を7月、11月、2月に実施し、整備が必要な箇所については、教育委員会に要望を行った。特にコロナ対応のため換気の必要性が増したため、放置されている換気扇の修繕を強く要望した。</li> <li>④ 毎週生徒の状況を共有するための学年代表等による連絡会を実施した。特にいじめに発展すると考えられる事案の共有や早期解決に向けた検討などを中心に行った。校内の全体の様子は、こども支援コーディネーターが把握し、必要に応じて学年・担任への支援を行った。また、こども支援コーディネーターは、教室に入りにくい状況になった生徒が学習したり、相談したりできるカウンセリングルームを運営し、個に応じた居場所として活用した。また、町の適応指導教室（西公民館）等との連携も行い生徒の状況に応じた居場所づくりを行った。</li> <li>⑤ 年度初めに、キャプテン会議を経て学校の方針を伝え、それをもとに各クラブミーティングを行い、活動目標や方針を明確にした。クラブ活動の活性化のために、他校と合同練習（野球部、陸上部）や練習試合を定期的にするなど活動の幅を広げた。しかし、今年度は、他校との交流や練習時間の制約などコロナ対応による影響も大きく、十分な活動時間の確保には至っていない。特に公式戦が中止となったため、3年生の引退試合が思うように実施できず、不十分な状況となっている。</li> <li>⑥ 12月に後期生徒会役員と学校協議会委員及びPTA役員との交流会を持ち、生徒が自分の考えを発表した後、意見交換を行った。生徒会活動の活性化を目的としているが、中学生が、町の将来（少子高齢化）を真剣に考えているようすや、これからの吉川中学校の在り方（自転車通学・ICT教育の充実・校庭の整備等）についても考えているなど、さまざまなことに興味関心を持っていることが分かった。</li> <li>⑦ 今年度はコロナ対応のため従来のような行事は行えなかった。体育大会は、生徒の接触する競技を取りやめ半日での実施とした。合唱発表会は飛沫感染防止のため中止した。3年生修学旅行は、沖縄方</li> </ul>

	<p>面への予定を信州方面に変更し、時期を4か月ずらして9月初めに実施した。地域の就学前施設での保育体験学習は実施できず、大型絵本を作成してプレゼントすることとした。2年生では宿泊学習(神鍋方面)は実施できたが、職場体験学習(3日間)は中止した。1年生では校外学習の行き先を六甲山方面に変更し実施した。福祉体験学習(車椅子バスケット体験)は、府立障がい者交流促進センターファインプラザ大阪より講師を招聘し実施した。いのちの学習(1276座による講演会)は中止した。修学旅行については、来年度も行き先について検討している。</p>
<p>評 価</p>	<p>○生徒の評価 ※(H30年度、H31年度、<b>R2年度</b>)の肯定(A)評価の割合  「学校へ行くのが楽しい」(61.8% <b>59.5%</b> <b>61.7%</b>)「基本的な生活習慣の確立に力を入れている」(55.1% <b>53.1%</b> <b>60.4%</b>)「あいさつはできていると思う」(53.7% <b>52.1%</b> <b>58.4%</b>)「命の大切さ、社会のルールの大切さ、人権の大切さについて学んだり考えたりするように指導している」(66.8% <b>66.0%</b> <b>70.3%</b>)「いじめや悩みや困っていることに対応しようとしている」(59.0% <b>64.0%</b> <b>65.3%</b>)「将来の夢や目標を持っている」(50.0% <b>50.2%</b> <b>47.3%</b>)「人の役に立てる人間になりたい」(69.5% <b>72.8%</b> <b>76.9%</b>)「先生は将来の夢や目標について考える機会をつくっている」(44.9% <b>47.9%</b> <b>50.5%</b>)であった。昨年度より若干上昇したが、「将来の夢や目標を持っている」が下がった。</p> <p>○保護者の評価  「学校へ行くのが楽しいと言っている」(57.1% <b>52.7%</b> <b>53.0%</b>)「基本的な生活習慣の確立に力を入れている」(38.1% <b>37.4%</b> <b>40.4%</b>)「命、社会のルール、人権の大切さについての指導を行っている」(38.6% <b>41.7%</b> <b>40.0%</b>)「いじめなど困っていることに耳を傾け対応している」(35.1% <b>37.9%</b> <b>34.1%</b>)であった。コロナの影響により授業時数確保が必要となったため、さまざまな取り組み(職場体験などの行事)が減少したが、いじめや人権学習の取り組みの評価が下がっている。</p> <p>○総括的  不登校の生徒が増える傾向にある。要因は様々であるので、一人ひとりに寄り添い、家庭と連携した指導を大切と考え取り組んでいる。しかし、生徒の自己評価が低いことや、いじめの対応等についての評価が下がったことを注視していきたい。これからも、生徒自身がさまざまな行事に主体的に参加できるようにすることを大切にしていきたい。生徒会活動の活性化も大切に進めていきたい。</p>
<p>学 校 協 議 会 委 員 評 価</p>	<p>○行事の変更や中止・縮小など臨機応変に対応し、出来る最大限のことに取り組んだことは大いに評価したい。</p> <p>○生徒会与学校協議会委員との交流会では、要望と同時に実現に向けた資料を準備し説得力のある生徒のプレゼンテーション能力の素晴らしさに感嘆しました。</p> <p>○コロナ対応のため従来の行事を中止せざるを得なかったことは、生徒の成長の上で大きな痛手となったことだと推測できます。大きな行事を行えば、生徒も人間として大きく成長するけれど、生徒指導上の問題も明らかになってきます。それらを乗り越えることにより、授業でも行事でも「高め合う集団」になっていくと思います。</p>

3 学校の危機管理について - 報告・連絡・相談・点検の徹底

計 画	<p>① コンプライアンスの徹底を図る</p> <p>② 学校の事故防止のため、日常の安全点検、報告・連絡・相談を行う。</p> <p>③ 学校情報の透明化を図り、積極的な発信に努める。</p> <p>④ 学校文書、公金、諸経費等は、複数の担当で管理・点検を行い、PTA や教育委員会の監査を受ける。</p> <p>⑤ 生徒・保護者・地域への学校ルールの指導と統一と徹底を図る。</p>
取 組	<p>① 教育公務員としてのコンプライアンスについては、年度初めに「めざす教員像」を提示するとともに、定期的に職員会議等で指導した。特に、今年度はコロナ対応について安全安心な学校運営を第1優先とし、マスクの着用、手指の消毒・手洗いの徹底、3密の回避、さらには、私生活においても教員としての意識を持って感染予防に努めることを強く求めた。学校では、毎朝の健康状態の把握のため、検温と体調管理表への記入を求めた。また、生徒の健康管理も徹底し、学校行事については、感染防止の観点ですべてを見直した。その結果、合唱発表会を中止、修学旅行は行き先の変更、体育大会は種目数を減らして半日開催など、生徒の行事は削減することなく工夫して実施する方向で実施に向けて取り組んだ。</p> <p>② 校内の安全点検は、年3回教員による全校一斉点検と日常の清掃時間での点検を行い、工事等の必要な危険箇所については、教育委員会に依頼した。今年度は、学校敷地内に夜間に侵入された形跡があったため、体育館前に防犯カメラを設置した。学校や地域等で発生した事案については、学年生徒指導連絡会を火曜日の5限に設定し、全教員で情報共有を行い、必要な場合は町教委や豊能警察と連携し対応を行った。地震及び火災への対応については、避難訓練（今年度は12月のみ）を実施した。</p> <p>③ 「学校だより」「学年だより」「進路通信」「保健だより」「図書だより」「給食だより」などを発行した。今年度は、コロナ対応のため、学校行事、PTA 行事、クラブ活動など、さまざまな点で急な変更があった。そのため、教育委員会に要望し、町内で共通する変更点（授業日の変更、コロナによる出席停止等）については、教育委員会より文書を出していただいた。また、保護者の方にも協力を求めるため、学校のコロナ対策などを周知するように努めた。その結果、体育大会においては、PTA が中心となり保護者の検温や3密防止に向けた取り組みを主体的に実施していただいた。</p> <p>④ 学校文書、公金、諸経費については、管理職の許可のもとで取り扱っている。さらに毎年、町教育委員会の監査を受け、改善点等の指導を受けている。また、2月には町監査委員から監査を受けている。さらに、保護者からの徴収金については、3月にPTA 会長による監査を受ける。個人情報の管理については、持ち出しを禁止し、やむを得ず持ち出すときには管理職に許可を得ることとしている。</p> <p>⑤ 生徒指導関係のルールについては、「生徒指導マニュアル」（教員用）を毎年作成し、教員間で指導の相違が無いように共通確認を行っている。例年行っている3小学校区の青少年育成協議会との連携については、今年度はコロナ対応のため行事が中止となり、充分行えなかった。</p>
評 価	<p>○生徒の評価 ※（H30年度、H31年度、R2年度）の肯定(A)評価の割合  「学校は『学校だより』等通じて情報を発信している」（75.2% 69.0% 67.8%）「『学校だより』等を読んでいる」（24.7% 32.2% 29.0%）「給食は適切に実施されている」（27.3% 39.3% 43.9%）であった。「学校だより」には、学校の行事や取り組みなどを紹介するなど生徒が関心を持つよう取り組んだが今後も継続する必要がある。給食については、生徒会と連携し、パン給食を増やしてほしいなどの意見を給食会社に伝えメニューの工夫を行ったり、栄養士を中心に食育推進に継続して取り組んできた成果により少しずつ評価は上がってきているが、今後も生徒にとってより良い給食となるよう取り組んでいくことが大切である。今年度は、コロナの影響により生徒会による給食工場の見学は実施できなかった。</p> <p>○保護者の評価  「学校は教育方針や活動を分かりやすく伝えている」（32.4% 36.9% 38.4%）「学校は情報発信や連絡・情報提供を行っている」（50.8% 56.0% 59.4%）「子どもを通じて情報は保護者に届いている」（53.0% 47.9% 44.2%）「給食は適切に実施されている」（24.6% 24.2% 30.7%）「施設・設備の安全管理を適切に行っている」（26.2% 31.7% 27.3%）「生徒の健康管理に努めようとしている」（37.5% 39.3% 46.8%）であ</p>

	<p>った。今年度はコロナ対応のため健康観察で体温チェックやチェックシートの記入などいねいに行った。また、例年通りの学校運営ではなかったため、情報発信には注意をして行き、学校だよりの配布や急な連絡事項など、さらには、PTA 関係の連絡にもメール配信を利用して行うようにした。</p> <p>○総括的</p> <p>給食会社の見学は今年度実施できなかったが、学校で話し合いを行うことはできた。生徒会は、話し合いの結果を全校生に発信してくれるなど残食を減らす取り組みを行ってくれた。そのため、給食への肯定的評価も向上してきた。</p> <p>体育大会については、コロナ対応のため午前中のみ開催とした。また、全生徒席用にテントを設置した。そのため、PTA より生徒席用のテントを寄付していただいた。</p> <p>学校施設については、老朽化の影響で様々なところで修理修繕が必要となっている。安全を第一に教育委員会と協議を進めていきたい。</p> <p>個人情報については、持ち出しを禁止している。持ち出さなければならないときには、管理職に報告し事前に承認を得ることとしている。</p>
<p>学 校 協 議 会 委 員 評 価</p>	<p>○メール配信を積極的に利用されたとのこと、これからは、保護者・地域と一緒に活動していくコミュニティースクールを目指されることになるとのこと。より多くの情報発信に期待します。</p> <p>○保護者の評価で「子どもを通じて情報は保護者に届いている」(53.0% 47.9% 44.2%)の積極的肯定評価が年々下がっていることが気になります。子どもは年々自分で判断して、不必要だと思う情報を保護者に伝えないようになってきているのではないのでしょうか。今の時代に合う情報発信について、さらに考える時期に来ているのではないのでしょうか。</p> <p>○保護者アンケートの結果で「生徒の健康管理に努めようとしている」(37.5% 39.3% 46.8%)によく表れていますが、新型コロナウイルスへの毎日の対応は、教職員が一丸となって非常によくされていたと感心しています。お疲れ様です。</p>

4 本校の将来像と信頼される学校づくりについて - 生徒の意欲と自主的行動力を育てる

計 画	<p>① 授業参観と授業公開週間を実施する。</p> <p>② 学校教育活動に地域等のボランティアと PTA の支援を積極的に活用して、学力向上や学習の充実、さらには部活動の充実などに取り組む。</p> <p>③ 学校の小規模化に伴い、他校との交流など、教育の充実のための学校運営のあり方を検討する。</p> <p>④ 小中一貫教育推進を積極的に行う。</p> <p>⑤ 学校協議会では、学校が保護者や地域住民等の信頼にこたえ、家庭や地域と連携・協力し、一体となって生徒たちの健やかな成長を図るために、様々な視点の幅広い意見を求めるとともに、学校関係者評価に取り組む。</p>
取 組	<p>① 今年度は、コロナ対応のため、保護者の来校を制限して学校運営を行った。授業参観・合唱発表会は中止としたし、体育大会は、午前中で見学者数を制限した。体育大会の様子を WEB 配信してほしいと PTA より要望があったが、個人情報保護の観点から実施しなかった。今後の検討課題である。</p> <p>② 今年度は、3密を回避する観点で、生徒の活動場所を制限し、職場体験学習など地域の方にお世話になる行事は、ほぼすべて中止とした。クラブ活動も、対外試合が例年通りには実施できず、保護者の観覧もできない大会が多かった。地域と連携した取り組みが充分行えなかったが、ふれあいのつどいのボランティアの生徒が、校門前の鉢植えに飾った言葉を見た地域の方から感謝の言葉をいただき、少しでも地域とつながることができたのではと感じた。</p> <p>③ 生徒数の減少に伴い、クラブ数が減少してきているとともに、1クラブの部員数も減少している。そのため、活動の仕方も工夫しながら、生徒が達成感を持てるように取り組んでいる。吹奏楽部においては、地域での演奏会を中心に活動してきたが、今年度は、演奏のようすをビデオ録画し、クリスマスに保育所の子どもたちにプレゼントをして視聴してもらった。今年度も、個人で参加できる柔道、水泳については、中学校体育連盟等の大会に出場ができるよう学校として対応した。</p> <p>④ 小中一貫教育の推進については、今年度も町教委主催の小中一貫教育推進会議へ担当者が毎回参加した。今年度は、教委主催で学校運営協議会準備委員会が設定され、西地区の地域代表に加え学校園所の代表による委員会が行われた。</p> <p>⑤ 学校協議会を開催し、学校の情報を伝え、ご意見を頂いた。また、12月には学校協議会委員とPTA役員による生徒会役員との懇談会を実施し、直接、生徒会役員へアドバイスをいただくことができた。</p>
評 価	<p>○生徒の評価 ※ ( H30 年度、H31 年度、<b>R2 年度</b> ) の肯定(A)評価の割合  「学校行事はみんなが楽しく、そしてがんばって取り組めるようになっている」 (68.0% <b>67.5%</b> <b>71.4%</b>) であった。今年度、合唱発表会は中止とした。体育大会は、3密とならない競技を中心に半日開催で実施した。修学旅行、宿泊学習、校外学習等は、日程、行き先や実施方法などコロナ対応を考慮して変更し、生徒が十分に活動できるように工夫して実施した。どの行事も、実行委員形式で生徒自身が運営していくように取り組んだ。また、年度初めに休校が続き、生徒同士のふれあいも例年より少なくなっている状況なので、いろいろな場面を利用して学年のつどい (スポーツ交流などお楽しみ会) を実施した。クラブ活動においても、生徒による自主的な活動となるように取り組んでいる。今年度は、生徒会役員選挙に多くの生徒が立候補するなど生徒会活動に意欲的な面が見られた。</p> <p>○保護者の評価  「学校は合唱発表会、体育大会などの学校・学年行事等に生徒が前向きに取り組むよう指導している。」 (57.8% <b>59.7%</b> <b>59.7%</b>) 「家庭では子どもとふれあう時間をつくろうとしている」 (54.4% <b>55.1%</b> <b>53.7%</b>) 「家庭では進路について相談することを大切にしている。」 (55.4% <b>50.8%</b> <b>51.6%</b>) 「地域人材の活用に努めている」 (44.8% <b>46.5%</b> <b>37.4%</b>) であった。  学校行事を生徒中心に考え、保護者の参加を制限したにも関わらず例年と同じように評価をいただいた。各家庭でも生徒との関わりを大切にいただいた。コロナ対応で地域との交流や行事を実施できなかったことで、地域連携についてはほとんどできなかったことが、今後はどのように進めるか検討していかなければならない。</p>

	<p>○総括的</p> <p>今年度は、年度初めに休校が続き、スムーズなスタートが切れなかったことが、さまざまな点、特に人間関係づくり（コミュニケーション）で影響が出ているのではと感じる。そんな中でも、生徒は、学年や学校行事を前向きに取り組んできた。これからの社会を生き抜く力を育成するためには、学力とともにコミュニケーション力を高める教育が大切であり、その点では、学校行事はとても大切である。主体的に行事に関わり成功体験をしていくことで、自己肯定感を高めていくこととなる。今後も、生徒一人ひとりが活躍できるような学校づくりに努めていくことが大切と考えている。</p>
<p>学 校 協 議 会 委 員 評 価</p>	<p>○生徒の自由な発想を見て、自主性と個性を尊重した教育がなされているのだなと改めて先生方に感謝です。</p> <p>○生徒数の減少で、従来の部活が出来ないのは可哀想な気がします。が、工夫して頑張っておられ、また置かれた環境に即した対応は素晴らしいと思います。</p> <p>○令和8年の義務教育学校開校に向けて、ぜひ吉川中学校から保護者・地域に信頼される学校づくりについて、いろんな面から発信してほしい。現場から将来の青写真を町教育委員会に届けてほしいと願います。あと実質考えられる期間は、4年しかない。吉川中学校でしか実現しない、子どもにとって素晴らしい学校のイメージを、中学校の現場から作り上げねばならないと思います。</p> <p>○西公民館やユーベルホールに近いことを利用して、地域の方と交流を深めながら教育の幅を広めていくようにしたらよいのではないのでしょうか。</p>